



八 剣 山 通 信

第20号

八 剣 山 発 見 隊

2004年 1 月 2 6 日 発行

1月25日(日)

「しばれ陶芸体験」を開催しました。

【行事の概要】

今年初めての八剣山発見隊の行事です。昨年は、2月から11月までの10ヶ月で14回の行事を開催し、毎回多くの皆さんに参加していただきました。

今年は、昨年とは別な観点から行事を開催するとともに、八剣山周辺地区における産業の活性化をめざした取り組みを進めていきたいと考えています。この1年間につきましても、これまで以上によりよろしくお願いいたします。

今回は、昨年に引き続き「宙(そら)工房」の川口英高さんのご指導により「しばれ陶芸体験」を開催します。

「しばれ焼き」とは、冬の寒さを利用して粘土の表面を凍らせて、自然の織りなす文様を付ける方法で、冬の気温が低い時期でなければ体験することが出来ない、陶芸の楽しみ方と言えます。

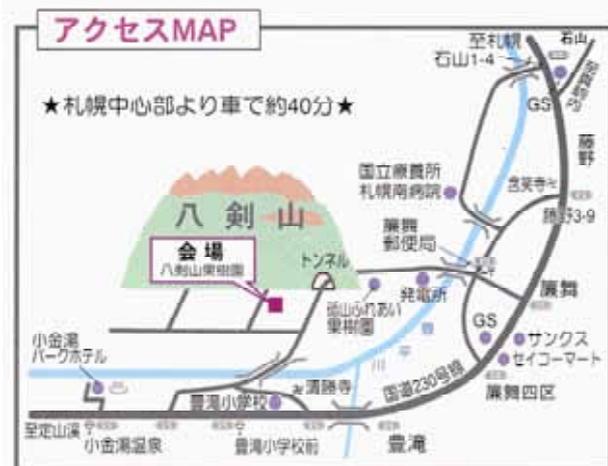
昨年は2月の中旬に開催しましたが、気温が例年以上に高かったため「しばれ文様」は出来ませんでした。参加者の中には数十年ぶりで陶芸の体験をする人もいて、皆さんいろいろな形の作品を仕上げ楽しんでいました。

今回は「しばれ」の文様を付けるところまで行い、釜で焼き上げるのは、後日、川口さんをお願いすることとしています。もし、時間に余裕のある方は、焼き上げるところを見学されてはいかがでしょうか。

また、今回の昼食には昨年11月23日実施した越冬野菜を少し掘り出して、八剣山果樹園のご協力により豚汁などを作っていただくこととしています。ぜひこちらの方も味わっててください。

・主 催 : 八剣山発見隊

【今回の行事実施場所】



【行事の感想】

雪で真っ白な大地と、まっ青な空にそびえ立つ八剣山。ふもとの八剣山果樹園で「しばれ陶芸」を行いました。

宙(そら)工房の川口さんの指導のもと、50名ほどの参加者が、粘土をひも状にして積み重ねたり、丸くして親指で内側からだんだんと薄くしたり、板状にしたりと、おのおのが考えてきた作品づくりに取り組みました。なかなか思いどおりの形にならず、途中から作るものを変更する人も見受けられましたが、午前中には、ほとんどの参加者が乾燥させるところまで作品を仕上げていました。中には、2個、3個と、制作している人も見受けられました。

昼食の時間を利用して、ストーブの上で乾燥させ、形を整えたり底を削って仕上げを行い、白と黒の化粧泥掛けを施してから、いよいよ「しばれ」の模様付けに挑戦です。

外は氷点下2度、15分程度日陰に置くと化粧泥に模様が入り始めました。模様を制作者それぞれが見定め、屋内に取り込みました。

ここからは作品を十分乾燥させ、川口さんに焼き上げていただくこととなります。3月14日の行事の時までには焼き上がること。作品が出来上がるまでの一月半が、今から待ち遠しく感じられます。



【しばれ模様を施した作品群】

【今後の行事予定】

- ・ 2月 8日 雪だるまギネスに挑戦
- ・ 3月14日 雪中山歩きと歩くスキー体験
- ・ 3月21日 世界の農業を考える講演会

発行：八剣山発見隊事務局（八剣山果樹園）
 061-2275 札幌市南区砥山126番地
 Tel 011-596-2280 FAX 011-596-2280
<http://sapporo.cool.ne.jp/hakentai/>

1月25日 しばれ陶芸蔵体験



【宙(そら)工房の作品群】



【川口さんの模範指導】



【作品づくりに挑戦】



【出来上がった作品をストーブで乾燥】



【化粧泥掛け】



【只今、しばれ模様制作中】

